

WITINewsLetter No. 97

1980年2月15日。戦争抵抗者インター日本部。大阪市阿倍野区旭町2-12-2 発行ウリ大阪。

原発に音（を）を上げざる時はいまい!

ところで、反原発を云いだしてから、ぼくの内部で何が変ったといつても、一番変ったことは何よりも、今までぼんやりと把持していたへ価値観への大転倒だろう。ぼくのなかに、抜きがたくあったへ価値基準は、ちよつと視座をかえることで、まるつきりちがつて見えだした。またのぞきで風景をみるように、世界が変つた—というよりか、権威主義的秩序がひっくりかえつてしまった。

▼たとは、先日、不払い連しごと塾で、次回の市民講座へ電気料金値上げのカラクリをすいくつか数えあげて、その一つを一人が分けて、みんなが講師になることがきまつた。といつても、ぼくらが特別に講師になれるほど、電気料金のカラクリに精通してるわけでは決してない。

▼原発と電気料金との関係は、ヤーに「原発を建てれば建てるほど、電力会社はもうかる。つまり電気料金の値上げができる。」「ヤーに「原発は、その建設が更に値上げの理由をつくることによつて、値上げによる原発建設資金をまみだす」ということにつぎる。そして電力会社にきわ



1984年.



めて都合のよいこの値上げを推進し、許可しているのは、通産省資源エネルギー庁が定めている「電気供給規定・料金算定要項」という。電気料金のきめ方だ。

▼ところがこの「料金算定要項」というものの、さらにその要項に基いて出される電気料金値上げの「供給規定変更認可申請書」などというものの、とてもややこしく専門家でなければ、おんなじくもやばくらの手に負えるシロモノではない。「総括原価方式」などが「資本費」「減価償却」「建設仮勘定」「リース」と「事業報酬」なんて語句、あんなに知ってますか。それらがよく判った上、並んでる数字を分析しなければ、電気料金については一切もくがつけられないというわけ。とすれば一夜漬けでも大勉強して、学者の仲間入りすべく奮闘努力しなければ、ということになるがたとえ自分だけが、どうやら判ったとしても、講師になつて、たくさんの人に判らせるなんて、とてもこのことではサジを投げるほかない。

▼だが、このことを、ちよつと視点をかえてみると、まるつきり逆さなやり方がへと段々よりなる。

へこれは決して専門的勉強や究明が「不用」ということではない。でも電気料金を云々するかぎり、必ずみんな勉強をしなければならぬ。といった今迄の考え方だけを固守するか

ぎり、運動

としての進展

はのぞめず

それこそが

電力会社や

通産省の役

人どものつ

けめなのだ。

うがびあがつてくる。つまりシロウトが専門家に変わるのではなく、あくまでシロウトとしての立場で、だから自分が使つてゐる日頃のコトバで、自分がなつてくし判つてゐる限りのことをしゃべる。判らんことは、何やムズカシうてはつきり判らんけど、どうもおかしいと思ひますねん。みなさんはどう考えますか。ということとで現起し、みんなであれやこれやと検討しあう。へそのときちよつと助言したり示唆する専門家や存在は、貴重だろ。

とすれば、ついムズカシく説明してしまふ専門家よりもむしろ、このような性質のへ市民講座の場合、何も知らないシロウトがシロウトとしてしゃべることこそが必要でしかも最大最良の講師たりうるへ能力者だということに



(26日午後、大阪市北区野崎町で)

▼このように従来は、弱臭やひけ目でしかなかったことが、まるで八連動のなかで逆転する—ということ、ぼくは反原発をすゝめる中で、いくつも具体的に立会ってきた。そして「反原発は世界をかえ、自分をかえる」というときの、ぼく自身のうちに最初に起った変革は、このことの衝撃的感動から出てきたものだ。た。た。た。



2.26 反原発電気料金値上げ反対デモ

きのうまでの寒空が、うって変った青空。まるで春のぼかぼか陽気。完全武装して出てきた私は、とうとうえりまきを取り、チョッキを脱いだ。

句曲に、日よりはなれけど、こんなええ天気になんかという手はない。そしてなにより句曲はチャンス。チャンス。そのがしたらアカン。今こそ、関電攻撃絶好のチャンス。そして市民に反原発を訴えるために、むこうがよえてくれたチャンスでもある。さあ出陣。

今年ハナオになる関さん(婦人)の声は、扇町公園い、はいにひびきわたった。

それから、いまや関西の集会に定着した。一分間アピール。(ハヤマンネリ化してきた感じ。当初のような新鮮さをつくりださねば！)

つづいて今日のよびものの一つ、不払い連のさんのオドロツク調へハートブレイクホテルの替え歌のひろう。

「反原発に恋して、関電破れた」

「世の中全部が、死の灰だらけさ」

いまさらとおする おまえのせいだぜ

とりかえしがつかないんだヨ

つづくは、デモ取締警官に紛れたS君登場。

マイクでエ子さんに「×××××」とどなる。とエ子さん

も負けずに「×××××」たちまちトラブル発生。そこへ

の子さん「すんません。なにしろ足が短かいよって、つい

おそなって、まかニンして下さい。せいぜい早ヨ歩き

ますよって」となると、S君「ムニャムニャ」で落着いて

皆大笑い。そこへ司会者が「……というわけで、今日のオ

マワリさんとの対応は、お子さんのやり方でいきましたよ

……ではそろそろ出陣です。

この日、女たちがよびかけた「反原発・電気料金値上げ

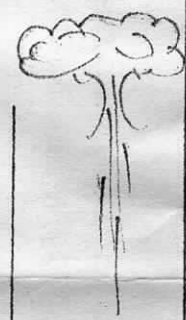
反対・怒りの大デモ」は子供4人、おとな6人、私服・新

聞記者などすべてあわせて、約百人。

少ないナというなけれ。カーに何よりもこのデモは、



女たちが発起し、よびかけ、何から何までとりしきった。第三、そのやり方が従来のデモとちがう。女たちのやり方をつくり出し、定着させるものであった。第三、デモとか行動はカーにチャンスをつかまえ、のがしてはならない。その意味で立上りのおそい従来のうごき方を、今回のデモは明らかに克服したものだ。



そして、女たちがよびかければ、20人30人はすぐあつまり、事大主義におち入ることなく、気軽なに又やるぞお。(風)



おとせ

★2月17日(日)PM5:5 現代と大連事件―天皇制と死刑制度を問う―於環状線芦原橋下車4分・部落解放センター。300円(20人以上のときは話さない主義を破って、向井さんはこのテーマだからこそパネラーの一人としてしゃべるとか、せひききにきて下さい。ふう)

★2月19日(火)PM6:30 軍事費分税金不払いの進め方諸君へスライドと確手申出の手引き。還付請求から審査請求まで、具体的な還付請求のやり方。(給与の源泉徴収票をもってきて下さい) 於・環状線「森の宮」下車5分・労働金庫本店会談室。

★2月20日(水)不払い連びつくり市民講座へ南西電力・電気料値上げセツの大力ラクリ。根合い・歌・漫才・そして全員参加の……。痛快なカジリのバラエティ講座。来場大歓迎。300円。於・扇町又は環状線天満下車5分・共同小屋353-8956

★2月23日(土)「とにかく聞いてみてよ! 電気代値上げのカラクリと原発のイロハ」於阪急電車正雀下車・正雀ガ九条会所(会舎せ362-8977) (1月24日は奈良交遊塾で、2月6日は橿原市田辺主婦グループの集りですとすつかり反原発の講師? ぶいたについて、又もや「ふう」さんが執事をいいます。近所の方はぜひ。(ふう))

★2月28日(金)PM6- 原発シブシブ著者堀江邦夫さんを囲んで。於P.L.P会館

あとがき……プリンター基金カンパ。なんと97名の方から予定以上の四二九、五〇円! (2月13日現在) 頂きました。ありがたうを百ぺんいても足りない思ひです(ふうふう)

